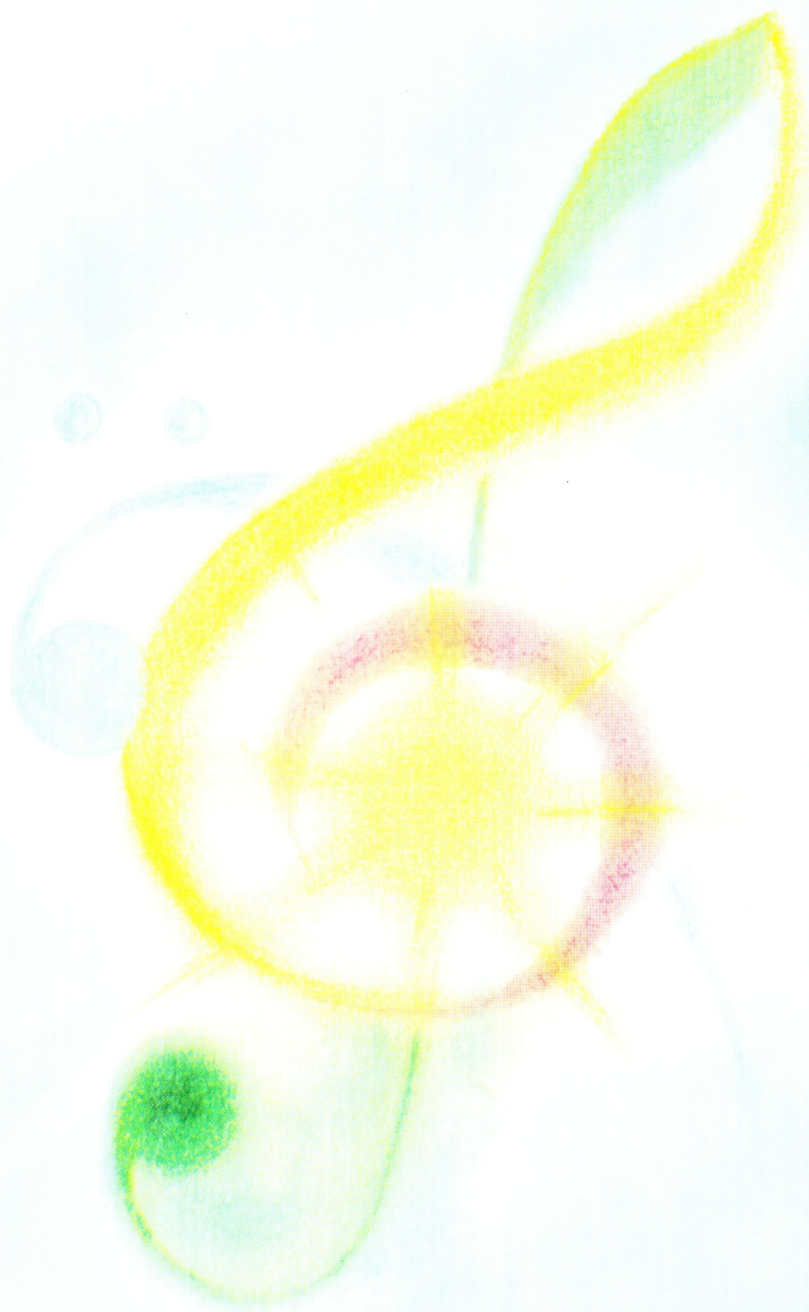


創立20周年記念
旭混声合唱団 第6回演奏会



2006年7月23日（日） 午後2時30分開演（午後2時開場）
長久手町文化の家 森のホール

主 催 旭混声合唱団
後 援 尾張旭市・尾張旭市教育委員会・長久手町教育委員会

ようこそ！

旭混声合唱団 創立20周年記

人の和が生まれ
音の和が生ま
心和むひ

ごあいさつ

みなさま こんにちは

本日は、私たちの演奏会にお越しいただきましてまことにありがとうございます。

旭混声合唱団は、1986年4月瀬戸市の第九演奏会に偶然集まった昔の歌仲間が中心となって結成した団体です。

当初は、団の名前すらない、まことにおぼつかないスタートではありましたが、歴代の指揮者、ピアニスト、ヴォイストレーナーなど多くのすばらしい指導者に恵まれ、本日ご来場のお客様をはじめとする支援者の方々、また団員の練習を支えてくれた家族など、多くの皆様方のおかげをもちまして、このたび創立20周年を迎えることができました。厚くお礼申し上げます。

年々コーラス人口が減少するなか、現在、旭混声合唱団は創立以来最多の団員数を擁しておりますが、創立20周年を契機に、今後はより多くの若者に参加してもらえるような合唱団への変革を願っております。そして、多くの皆様に楽しんでいただけるような合唱団として、いつまでも音楽を発信しつづけたいと思います。

本日は、これまでの歴史とともに私たちの思いを込めて精一杯歌います。どうぞお聴きください。

2006年7月
旭混声合唱団

念演奏会へ

れ
ととき……

旭混声合唱団 団歌

詞・曲 神谷伸行

昇る朝日の 光のように
まぶしく強く 輝ける
歌声は響く 心に深く
あふれるほほえみ ハーモニー
歌え いざ 高らかに
旭混声

緑の森に 風わたり
ひまわりのごと 瞳を上げて
あたらしき歌に 心あつめる
遥かな未来に 夢描き
わき上がれ 燃ゆる歌
旭混声

曲 目

I 『白いうた 青いうた』より

新実徳英 曲／谷川 雁 詞

1. ぶどう摘み
2. 八月の手紙
3. 南海譜
4. あしたうまれる
5. なまずのふろや
6. 北のみなしご
7. 卒業

II 『木下牧子 ア カペラ・セレクション』

木下牧子 曲

1. 夢みたものは……
2. さびしいカシの木
3. うたを うたうとき
4. ロマンチストの豚
5. おんがく
6. サッカーによせて

立原道造 詩
やなせ たかし 詩
まど・みちお 詩
やなせ たかし 詩
まど・みちお 詩
谷川俊太郎 詩

「創立20周年記念演奏会に寄せて」

神谷伸行

旭混声合唱団の指導をさせていただくようになってから、6年になります。初めの頃は、団のレベルや志向もよくつかめず、選曲や練習方法で戸惑ったこともありましたが、前回の第5回演奏会を経て今日、晴れて創立20周年記念演奏会を開催できますことを大変嬉しく思っております。

最初に依頼を受けたとき、「メンバー自身が感動できる団でありたい」というメッセージを受け取りました。それから試行錯誤が始まりました。うまく行かないときももちろんあります。じれったいと思うこともありましたが、和気藹々とした雰囲気はとても良いが、反面それがマイナスになることもある、と苦言を呈したこともあります。

Ⅲ 『旭混声合唱団 創立20周年記念 企画ステージ』

1. 鶴 ガムザトフ 詩／フレンケリ 曲／中村五郎 訳詩／中山英雄 編曲
2. 雨 混声合唱組曲『水のいのち』より 高野喜久雄 詩／高田三郎 曲
3. 風が 混声合唱組曲『心の四季』より 吉野 弘 詩／高田三郎 曲
4. 風の子守歌 混声合唱曲集『六つの子守歌』より 別役 実 詞／池辺晋一郎 曲
5. 箱根八里 鳥居 忱 詩／滝廉太郎 曲／林 光 編曲
6. Ein Kleiner, hübscher Vogel (小さな、可愛らしい鳥が)
ブラームス『愛のワルツ集』より No.6 Daumer 詩
7. You'll Never Walk Alone 『回轉木馬』より
Oscar Hammerstein II 詞／Richard Rodgers 曲

IV 混声合唱曲『岬の墓』

堀田善衛 詩／團伊玖磨 曲

指揮 神谷伸行
ピアノ 石川ひとみ

ところが、おそらくこの記念演奏会という大目標ができた頃からでしょうか、団の雰囲気次第に変わってきました。活気の伝わるHPの作成などもそうですが、特別パート練習の導入、ヴォイストレーニングの機会を数回持つなど、何より音楽面の充実を図ろうと団員が一丸となって動き始めたのはとても嬉しいことでした。

発声やハーモニー、アンサンブルの力などまだまだ未熟ですが、これを機会に今度は、恩師福永陽一郎の言葉「感動は人と人との間にある」を実践すべく、「団員が感動できる合唱団」から「聴いてくださる方々と感動を分かち合える」合唱団へさらに発展していきたいと思っております。今後とも旭混声を応援して下さるようお願い致します。

曲目解説

I 『白いうた 青いうた』より

この曲集は新実徳英作曲、谷川雁作詞による作品で、前回の第5回演奏会に引き続き第2弾をお送りします。通常の作曲パターンとは逆の、旋律が先にできてその後言葉が付くというスタイルでできたこの曲集は、作詞の谷川雁氏の死去により全53曲の完成を見るにとどまってしまったが、どれも単なる「実験的な」創作の域を超えた、芸術的歌曲と呼べる内容になっている。親しみやすく、それでいて奥の深い音楽性を含んでいて、合唱でも混声用、男声用、女声用と幅広くアレンジされ、まさに「平成版 新しい日本のうた」と呼ぶにふさわしい小品集である。音楽も民謡的要素や様々なリズムを使うなど工夫されており、詞もたった数行の中にスリリングなストーリーが展開したり、あるいは社会的な問題を提起したりとバラエティに富んでいて、音楽と言葉がうまくかみ合っているさまは、まるで個性豊かな織物が目の前に現れてくるようである。(神谷伸行)

II 『木下牧子 ア カペラ・セレクション』

合唱界において木下牧子は今や人気の作曲家である。今回演奏する曲はア カペラの小品ばかりだが、それぞれの曲の独自性、得意の官能的なメロディ、そして何よりその選詩眼とでもいうべきか、詩を選び、取り上げる力はこの作曲家ならではである。歌っていると、谷川俊太郎の世界では泥まみれになってサッカーボールを蹴り、やなせたかしの世界では豚になって軽々と空を飛び、立原道造の世界ではこの上なくのどかな光をゆったりと浴びることができる。まど・みちおの世界に至っては、その誰もが気づかない、いやたとえ気がついて言葉にできなかった機知に富んだ詩を読むだけで十分彼の世界に浸れもするが、音楽を味わうと一層深く心にしみこんでくるのだ。

「夢見たものは……」は混声合唱曲集『夢見たものは』(カワイ出版)、それ以外の曲は『木下牧子ア カペラ・コーラス・セレクション 混声合唱のための』(音楽之友社)から選んだものである。

(神谷伸行)

III 『旭混声合唱団 創立20周年記念 企画ステージ』

「鶴」

この曲が好きな理由は、アルトが主旋律を歌うということと、単調だけどとても切ないメロディであるということです。

戦いで亡くした夫への愛情と悲しみを切々と歌ったロシアの古い曲ですが、今なお世界にはそういう境遇の人々がいるということは、とても悲しむべきことだと思います。

歌っていると胸が詰まってきますが、難しい3連符を、気持ちを込めて歌い上げたいと思います。

(A. 大沢泊子)

『水のいのち』より「雨」

生きとし生ける物 すべてに分け隔てなく「降りしきれ 雨よ」に始まり、「許しあうもの、許しあえぬものの上に」と平和であればこそ許しあえる から「おお すべてを そのものに そのものの手に」で終わる「雨」。作詩者、作曲者のこの曲にこめた思いがひしひしと伝わってくる。

'90年11月(湾岸戦争の直前)、第1回演奏会で「水のいのち」全曲をうたってから(そのときもなぜ戦争をとという思いで涙し)早や16年目になる今年、「武力によっては平和は得られない」という視点で、平和のために私たちができることは?の思いを込めて私は「雨」を歌いあげたいと思います。

(T. 長谷川紀夫)

『心の四季』より「風が」

春夏秋冬、日本の四季はやはり美しいと思う。春は飾ろうとしなくても美しい。夏は幼き児を喜ばせ、秋は若者を深くし、冬は美しい春に再びめぐり会えるように大人をはげます。雨風が強い時は、やさしい風にふかれた時のことを想い出し、顔を上げて歩いていきましょう。どこに向かったらよいか未だにわからないけれども卑屈にならないで。

久しぶりに「心の四季」を歌い、いつもと変わらない夏を迎え、自分の心の中をのぞいてみました。

(S. 小坂光代)

『六つの子守歌』より「風の子守歌」

この曲は、組曲である『六つの子守歌』の中の1曲目で、静かに優しく歌うように指導されたと思います。今迄と違う曲想なので、新鮮な気持ちと反面テンポに乗れなく苦労もありました。

当初、この曲を全曲やるかどうかの賛否を問われましたが、賛同者はいなかったように思います。しかし、年齢を経ても、どの程度素直で優しく歌えるのか挑戦したい気持ちがあったので、自分は賛同しました。

1998年2月22日（日）エンゼルホールにて、さざんか合唱団とのジョイントコンサート第4部で全曲披露することが出来、旭混声の新たな魅力になったことと思います。

(S. 谷口千賀子)

『回転木馬』より「You'll Never Walk Alone」

この曲は、1945年にリチャード・ロジャース、オスカー・ハマースタインⅡのコンビで製作されたブロードウェイミュージカル“回転木馬”の中の1曲で、最も有名な曲である。

愛する夫を失った若い妻が、残された愛児とともに力強く生きていこうとする姿を描いたもの。1956年に映画化され、日本でも公開されて多くの感動を呼んだ。なお、最近ではサッカーのサポーター・ソングとしても人気がある。

旭混声合唱団として初めて取り組んだミュージカルシリーズのうち、団員の人気No.1の曲である。

(B. 早澤信昭)

※「箱根八里」「ブラームス 愛の歌」については省略させていただきます。

Ⅳ 混声合唱曲『岬の墓』

創立20周年記念演奏会の最後を飾るメインステージの選曲にあたって、私は迷うことはなかった。

白い墓の下に仄暗く存在する「過去」、青く広がる海という「現在」、その海に漂う舟に象徴される我々の「自己」、水平線の彼方に輝く「未来」。この四つを軸にして、人生の姿、永遠に解きたい人生の謎を絶対の真理「赤い花」に問いかける『岬の墓』。この曲に取り組むことによって、創立20周年という節目にきた道を振り返り、また何かを得て新たな気持ちで未来に向かって出航していく合唱団の、あるいは歌う者自身の姿を重ね合わせてみたかったのである。しかし哲学的な内容は決して容易に理解できるものではない。声楽的にも難しいし、オーケストラのように雄弁なピアノにも時に呑み込まれそうになるが、虚飾や甘い抒情を排し、雄渾な構築力を持って迫るこの大曲への挑戦を通して、合唱団もいづらか表現力の幅が広がったのではないかと思っている。最後の小節を充実した思いで迎え、充実した豊かな音で締めくくることができれば、旭混声にとっての彼方に広がる次の大きな水平線がきっと見えてくることだろう。

なおこの曲は1963年、木下保指揮・C B C合唱団によって初演され、同年度芸術祭賞ならびに文部大臣賞を受賞した。

(神谷伸行)

プロフィール

指揮者

神谷 伸行



名古屋市出身。同志社大学 文学部英文学科卒業。在学中はグリークラブにおいて指揮者として活躍、第12回関西六大学合唱演奏会で「R・シュトラウス歌曲集」を指揮、小松一彦氏より好評を得る。指揮法及び編曲法を故福永陽一郎氏に師事した。大学卒業後は声楽を平野忠彦氏に師事し、ドイツリートからオペラ、コンサートアリア、日本歌曲まで幅広く薫陶を受けた。その後大学男声合唱団の指導を経て現在に至る。

歌う側も聴く側も共感・連帯できる、あたたかい音楽作りをめざしている。瀬戸男声合唱団指揮者。

ピアニスト

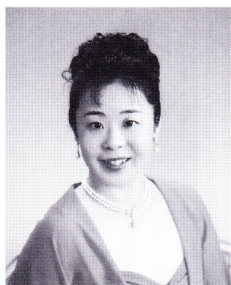
石川 ひとみ



国立音楽大学 器楽学科ピアノ専攻卒業。ピアノを深田嘉子、尾高節子、奥田京子、池沢幹男の諸氏に、室内楽、器楽伴奏をアドリアン・コックス氏に、チェンバロを中野振一郎氏に師事。

新人演奏会、リサイタルほか名フィル各奏者をはじめ、山本雅章、A・コックス、N・マルティネス、東京木管五重奏団、B・ブラック、郁暁光、E・オッテンザマー、兎束俊之、N響メンバー、佐藤陽子、金亜軍、ウヴェ・コミシュケ、P・シュミードル、トカレフ、ドラッカーなど、合唱指揮者としては新実徳英、吉村信良、関屋晋など著名アーティストと多数共演。

現在、岐阜大学、一般合唱団のピアニストを務める傍ら、バンダリーベラ、トリオ・de・ブランチ、H.I.T.など主にアンサンブルピアニストとしてコンサート、リサイタル、コンクールなどの伴奏で活躍。



ヴォイストレーナー

廣田 昌代

東京音楽大学 音楽学部音楽学科声楽専攻卒業。声楽家、ソプラノ。
 「ディドとエネアス」(ディド)、「天守物語」(桔梗)、「釣女」(醜女)、
 「祝い歌が流れる夜に」(靖子)、「フィガロの結婚」(伯爵夫人)、
 「浅茅が宿」(語りべ)、「ヘンゼルとグレーテル」(母親)、
 「セロ弾きのゴーシュ」(野ネズミ)、「じゅごんの子守唄」(権太)、
 「あまんじゃくとうりこ姫」(ばっさ)、「民吉」(お八重) 他のオペラ、
 イタリア歌曲のタベ、日本歌曲のタベ等のコンサートや朗読会に出演。
 2005年 おぺら座を結成。名古屋オペラ協会会員。一步の会講師。

合唱団員

ソプラノ

岩本 純子
 川瀬 真由子
 久保 則子
 久野 希見子
 小坂 光代
 近藤 真弓
 須田 千賀子
 谷口 千賀子
 角田 美和子
 中沢 佳代
 橋詰 ひろみ
 波多野 陽子
 早澤 満利子
 林 優美子
 原 恵里子
 藤田 美左紀

アルト

梅村 和子
 大栗 尉子
 大沢 泊子
 落合 路子
 後藤 せつ子
 酒井 富子
 須寄 麻弓
 中畑 チズ子
 長谷川 美智子
 平尾 和子
 松本 恵美子
 水野 真弓
 森下 修子
 吉原 直子

テナー

梅村 治康
 合瀬 弘正
 酒井 敏行
 長谷川 紀夫
 林 丁三
 水谷 彰宏
 渡辺 幸吉

ベース

伊東 功祐
 岩本 裕之
 佐竹 保
 中島 一彦
 中畑 義弘
 橋詰 喬
 早澤 信昭
 林 松男
 松本 義明



たくさんのメッセージをいただきました

創立20周年記念演奏会に寄せて

旭混声合唱団の皆様方「創立20周年記念演奏会」誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。私が初めて皆様にお会いしたのが1989年の9月～1994年の9月、早いものでもう17年ばかりが過ぎ去りました。その間、瀬戸合唱フェスティバル、尾張旭市民音楽祭への参加や、あけぼの合唱団を賛助出演にお迎えし開催した、第1回演奏会、又美和エコーとのジョイントなど、私の音楽人生に貴重な経験と思い出をいただきました。感謝の念で一杯です。とりわけ熱唱した「水のいのち」、「ロシア民謡」など今でも鮮明によみがえって来ます。

先回の演奏会を心弾ませ聴かせていただきました。素晴らしい指揮者の神谷先生、ピアノの石川先生の熱心なご指導と、団員の方々が本当に人を愛し合唱を愛されている姿に、そして心温まる演奏に大変感動しました。

今後、益々美しい心のハーモニーを奏でられますことをお祈り申し上げます。

照喜名一男【名古屋音楽大学教授 '89～'94旭混声にて合唱指導】

十年ちょっと前にわずかな期間ではありましたがお世話になりました。

十年一昔と云われますが、今でも皆様相変わらず音楽に愛情と情熱を持って合唱の稽古に励まれていることと思います。

さて、「合唱」と聞くといつも思うのですが、西洋音楽であるはずの合唱が日本独自の手法を用いるあまり、西洋音楽の手法とは違う方向で音楽作りがされているのではないのでしょうか。私はその一昔前、西洋人が奏でる西洋音楽と日本人が奏でる西洋音楽の違いを踏まえ、その演奏法（理論と実践）を皆様にお伝えしました。近い将来、指導者も含めた日本の合唱界の皆様が西洋音楽を大いに語ることのできる日が来ることを悲願しております。最後に改めまして、旭混声合唱団創立20周年記念演奏会おめでとうございます。

貴団のこれからのますますのご発展をお祈り申し上げます。

滝沢 博【オペラ歌手（バリトン） '95～'96旭混声にて合唱指導】

20周年記念演奏会開催を心からお慶び申し上げます。私の旭混声合唱団とのご縁は、思い出せばそれはまだ学生だった頃、照喜名先生のピンチヒッターとして稽古を引き受けたことでした。今から14年前の話です。以来、大家族のような、温かい団員の皆さんとのお付き合いが始まりました。もうそんなに時間が経っていることに、あらためて驚いています。正指揮者としては1年余りという短い時間でしたが、今でもかけがえのない良い思い出です。その後団員が益々増えて、より一層団が活気を持ちながら発展していることをとても嬉しく思います。どうぞ今日のこの晴れ舞台を励みにこれからも歌い続けていってください。

松井俊彦【ドイツ オルデンブルク市歌劇場合唱団員 '92～'98旭混声にて合唱指導】

旭混声合唱団創立20周年、おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

20年という年月の間に楽しいことも苦しいこともあったことでしょう。それを乗り越え集大成し、本日の演奏を是非成功させてください。ご盛会を心からお祈り申し上げます。そして、次に向けて大きくはばたきますように！

中村貴志【テナー歌手、指揮者 '98～'00旭混声にて合唱指導】

夫の転勤で旭混声を離れ早いもので3年になりました。団塊の世代が多い団で、歌にも遊びにも「パワー全開」で、その気迫(?)にぐいぐい引っ張られ、後からヨタヨタついて行っていました。神谷先生の練習は厳しかったですが、日本語のボキャブラリーが豊富でとても勉強になりました。でも、なかなか先生の要求にあの頃は(そう、あくまであの頃です)体も技術もついていけず、音はずす、リズムにのれない、音が走る、アカペラを歌うと始まりの音と終りの音が…。

3年間の旭混声の成長を聞きに行けなくてとても残念です。ご成功お祈りしています。

後藤恵【'97～'03旭混声ソプラノに在籍

明るい声と性格でムードメーカーとして活躍、福岡市在住】

旭混声はアットホームな暖かい雰囲気です。勤め先の異動で初めて尾張旭市にお邪魔した初心者の私を受け入れていただいたこと、いったん団を離れた私を再度暖かく迎えていただいたことから明らかでしょう。それを皆様もステージから感じ取っていただければと思います。20周年演奏会の成功と団のますますの発展を九州の地から祈念します。

末松拓也

【'96～'00、'03～'04旭混声ベースに在籍

存在感大の最年少団員(当時)、福岡県在住】

1986年	4月	創立	9月	瀬戸合唱フェスティバル出演
87年	9月	瀬戸合唱フェスティバル出演		
88年	10月	合唱交歓会出演（尾張旭女声コーラス、コールアモーレ）		
89年	2月	尾張旭市民音楽祭出演	9月	瀬戸合唱フェスティバル出演
	11月	尾張旭市民音楽祭出演		
90年	3月	垂井町はちす保育園卒園式賛助出演		
	9月	瀬戸合唱フェスティバル出演	11月	尾張旭市民音楽祭出演
	11月	第1回演奏会 賛助あけぼの合唱団 《組曲 水のいのち》		
91年	9月	瀬戸合唱フェスティバル出演	11月	尾張旭市民音楽祭出演
92年	5月	第2回演奏会 美和エコーとジョイント 《組曲 海鳥の詩》		
	9月	瀬戸合唱フェスティバル出演	11月	尾張旭市民音楽祭出演
93年	7月	第3回演奏会 賛助 美和エコー 《組曲 旅》		
	9月	瀬戸合唱フェスティバル出演	11月	尾張旭市民音楽祭出演
94年	9月	瀬戸合唱フェスティバル出演	11月	尾張旭市民音楽祭出演
95年	7月	美和エコー演奏会に賛助出演		
	9月	瀬戸合唱フェスティバル出演	11月	尾張旭市民音楽祭出演
96年	4月	アマービレコンサート出演 《組曲 心の四季》		
	9月	瀬戸合唱フェスティバル出演	11月	尾張旭市民音楽祭出演
97年	9月	瀬戸合唱フェスティバル出演	11月	尾張旭市民音楽祭出演
98年	2月	第4回演奏会 稲沢さざんか合唱団とジョイント 《組曲 風の子守歌》		
	9月	瀬戸合唱フェスティバル出演	11月	尾張旭市民音楽祭出演
99年	5月	合唱交歓会出演（瀬戸男声合唱団、尾張旭女声コーラス）		
	9月	瀬戸合唱フェスティバル出演	11月	尾張旭市民音楽祭出演
2000年	6月	合唱交歓会出演（尾張旭女声コーラス）		
	9月	瀬戸合唱フェスティバル出演	11月	尾張旭市民音楽祭出演
01年	7月	合唱交歓会出演（コーロ・フローラ、コール・ラ・ラ・ラ、尾張旭女声コーラス）		
	10月	瀬戸合唱フェスティバル出演	11月	尾張旭市民音楽祭出演
02年	3月	尾張旭市公民館まつり出演		
	7月	合唱交歓会出演（瀬戸男声合唱団、尾張旭女声コーラス、コーロ・フローラ）		
	9月	瀬戸合唱フェスティバル出演	11月	尾張旭市民音楽祭出演
03年	3月	尾張旭市公民館まつり出演		
	5月	第5回演奏会 於：せとしんエンゼルホール		
		旭混声合唱団のホームページ開設		
	8月	合唱交歓会（尾張旭女声コーラス）		
	9月	瀬戸合唱フェスティバル出演	11月	尾張旭市民音楽祭出演
04年	3月	尾張旭市公民館まつり出演		
	9月	瀬戸合唱フェスティバル出演	11月	尾張旭市民音楽祭出演
05年	3月	尾張旭市公民館まつり出演		
	7月	瀬戸合唱フェスティバル出演	11月	尾張旭市民音楽祭出演
06年	3月	尾張旭市公民館まつり出演		
	7月	第6回 創立20周年記念 演奏会		

於：長久手町文化の家 森のホール

旭混声合唱団では、団員を募集しています。

男女・年齢・経験は一切問いません。

仲間と歌うことが大好きな方、一度遊びにおいでください。

練習日：毎週土曜日または日曜日

時 間：19～21時

場 所：旭丘公民館 尾張旭市大久手町上切戸70

TEL：0561-52-1624

お問合せ／早澤 0561-54-3948 ・ 松本 0568-91-7922

ホームページURL <http://www010.upp.so-net.ne.jp/asahi/>

